

会 報

# 鳥 取

第 7 号

2002年8月



大山々頂から弓ヶ浜半島を望む 提供 オフィスYATO

目  
次

平成13年度理事会・総会の開催 …… 1	平成14年度SP事業実施計画 …… 9
平成13年度事業実施状況 …… 2	シルバー人材センターの紹介 …… 10～12
平成13年度SP事業実施状況 …… 3	会員の広場 …… 12～14
平成14年度事業計画 …… 4	講習会に参加して …… 14～15
平成14年度事業実施状況 …… 5～6	シルバー人材センター設置状況 …… 16
健康シリーズ⑥ …… 7～8	

社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

# 平成十三年度

## 通常理事会・総会開催

### 理事会

平成十三年度最後の通常理事会を三月二十八日「倉吉シティホテル」に於いて、会長以下全員の出席のもとに開催しました。

当日審議された議案は次のとおりでした。

第一号議案 平成十四年度事業計画（案）  
について

第二号議案 平成十四年度収支予算書（案）  
について

その他  
いずれも原案どおり承認されました。

その他

いずれも原案どおり承認されました。

### 通常総会

平成十三年度第二回通常総会を理事会と同日の去る三月二十八日に倉吉市の同場所で開催しました。

総会には、正会員二十二シルバー人材センター中、二十一シルバー人材センターの出席のもと、来賓として鳥取労働局尾高高齢者対策担当官、鳥取県商工労働部労働雇用課安藤雇用政策室長さんの出席をいただき、議長に（社）智頭町シルバー人材センター理事長の



石谷文一氏を選出、次の議案を審議し、全て原案どおり承認されました。

第一号議案 新規会員加入承認報告について

第二号議案 無料職業紹介事業業務の運営に  
関する規程の一部変更について

第三号議案 事務規程の一部変更について

第四号議案 平成十三年度事業計画（追加）  
案について

案について



第五号議案 平成十三年度収支補正予算書  
（案）について

第六号議案 平成十四年度事業計画（案）に  
ついて

第七号議案 平成十四年度収支予算書（案）  
について

その他

いずれも原案どおり承認されました。

その他

## 平成十三年度事業実施状況

### 経験交流大会の開催

平成十四年一月二十二日(火) 午前十時三十分から「倉吉シティホテル」に於いて、平成十三年度経験交流大会を開催しました。



県内各シルバー人材センター・各市町村の担当者の方百三十名出席のもと来賓として、鳥取労働局尾高高齢者対策担当官、鳥取県商工労働部田中労働雇用課長並びに地元早川倉吉市長をお迎えし、盛大に開催することが出来ました。

講師には、(社) 出雲市シルバー人材センター常務理事村尾孝義氏の基調講演の後(社) 広島県大竹市シルバー人材センター松本光弘事務局長・地元(社) 米子広域シルバー人材センター吉田浩一事務局次長の事例発表があり、その後意見交換を行い盛会のうちに閉会しました。

### 福祉・家事援助サービス

#### 推進事業職員研修会

平成十四年二月十八日、倉吉市内において、各シルバー人材センターの福祉・家事援助サービス事業担当理事並びに担当職員等三十六



名が参加し開催されました。

(社) 光広域シルバー人材センター次長唐島 操氏から「福祉・家事援助サービス事業の現状と今後の方向性」の基調講演をいただき、その後、全シ協の研修報告として、(社) 鳥取県シルバー人材センター連合会職員福田英世、(社) 倉吉市シルバー人材センター福祉・家事援助担当福田敏子氏に報告いただき、その後意見交換、質疑等に入り活発な意見もあり、今後の事業運営に大変参考となりました。

#### 第二回安全就業推進委員会開催

今年度第二回安全就業推進委員会を三月十二日各拠点センターの推進委員等十名出席のもとに開催されました。

会議では、会員の安全就業が基本であることから、健康管理・交通事故防止対策及び会員に合った安全適正就業等についての意見交換を行いました。

#### 第二回就業機会開発推進委員会開催

平成十三年度第二回就業機会開発推進委員会を三月十九日倉吉市において、各拠点センターの推進委員等十二名出席のもとに開催されました。

会議では、平成十三年度の各拠点センターの取組みや、特に就業開拓についての意見交換を行いました。



シニアワークプログラム事業は、厚生労働省から委託を受け、高齢者の就業機会を促進・拡大するための技術講習です。  
 十三年度は、技能講習を十回、介護講習を六回実施しました。

**平成十三年度シニアワーク  
 プログラム事業実施状況**

**平成13年度シニアワークプログラム事業(第1種)実施状況**

講習名	開催場所	実施期間	講習日数	定員	受講者数	修了者数	就職者数	
技能講習	塗装	鳥取市	7.09～7.13	5	20	19	19	5
		倉吉市	7.24～8.09	6	20	19	19	3
	パソコン	智頭町	8.06～8.10	5	20	20	20	2
		鳥取市	10.15～10.19	5	20	18	17	1
	接客サービス	米子市	1.15～1.21	5	20	18	18	4
		米子市	9.10～9.14	5	20	18	18	3
		倉吉市	2.25～3.01	5	20	20	18	2
		米子市	11.05～11.09	5	20	23	23	3
	左官・ブロック積	鳥取市	11.26～12.04	6	20	17	16	3
	観光ガイド	倉吉市	11.26～12.04	7	20	19	17	2
技能講習	小計		54	200	191	185	28	
介護講習	ホームヘルパー 2級課程	倉吉市	7.02～9.10	20	20	17	17	3
		鳥取市	8.29～10.04	20	20	20	20	5
		米子市	11.01～12.07	20	20	20	20	6
	ホームヘルパー 3級課程	鳥取市	6.01～6.20	10	20	18	15	5
		米子市	7.05～7.25	10	20	20	20	5
		境港市	10.15～10.19	10	20	24	23	4
介護講習	小計		90	120	119	115	28	
合 計			144	320	310	300	56	



## 平成十四年度事業計画

### 基本計画

急速な高齢化社会が続く中で経済社会の活力を維持・発展させていくため、高齢者が長年にわたり培ってきた豊かな知識と経験・技能等を積極的に活かし、働くことを通じて社会参加し、健康で生きがいをもって活動できる社会の実現を目指す。

### 事業実施計画

#### 一 普及啓発活動

センター事業の理念を広く県下に周知し、事業に対する理解と協力を得るため、あらゆる機会をとらえ普及活動を行う。

##### ① 連合会機関誌の発行（年二回）

センター事業及び各拠点センターの取り組みを掲載した機関誌を発行し、広く情報を提供する。

##### ② シルバー祭の開催（東・中・西二カ所）

「いきいき健康福祉まつり」に参加し、地域住民とのふれあいを通じて、事業の浸透を促進する。

##### ③ 普及啓発用リーフレットの作成

##### ④ 新聞等への普及啓発の積極的活用

#### 二 就業開拓等推進事業

センター事業の受注可能な就業分野の開発・拡大を図る。

##### ① 就業機会開発推進委員会の開催（年二回）

シルバー人材センターの就業機会開発の推進に関する事項を検討し、その対策を推進する。

##### ② 就業開拓推進員の配置（連合会）

就業機会の確保、新たな就業分野の開拓、各センター間の業務調整を行う。

##### ③ 就業機会創出員の配置（各拠点）

就業機会の創出を行う。

#### 三 交流・研修事業

シルバー事業の正しい理解と事業の充実・発展を期するため、役職員を対象として交流会、役員研修会等を実施する。

##### ① 経験交流大会の開催

各拠点センターの課題や問題点について、共通認識を培うため県下各市町村及びセンターを対象に開催する。

##### ② 役員研修会

日頃の事業運営に係る諸事項を課題とした意見交換を行い、合わせて役職員の交流を深める。鳥根県と合同で開催

##### ③ 中国ブロック研修会の参加

##### ④ 全シ協研修会への参加

#### 四 無料職業紹介事業

臨時的且つ短期的及び軽易な業務について雇用就業を希望する高齢者に無料職業紹介事業を行う。

##### ① 打ち合せ会の開催（年一回）

##### ② 紹介責任者、紹介従事者講習の受講

#### 五 福祉・家事等企画推進事業

この分野の需要はますます増加することが予想され、地域社会のニーズに充分応える事が出来るよう情報の提供、指導、援助を実施する。

##### ① 担当職員の研修

県下全センター対象の職員研修会及び全シ

協で実施する研修会に参加する。

##### ② 普及啓発

リーフレットの作成配布

##### ③ 情報の収集・提供

#### 六 指導相談事業

組織運営、事業運営及び会計経理等の巡回指導、パソコンによる情報の提供、諸会議等による随時の指導相談を行う。

#### 七 シルバー人材センター設置促進事業

未設置町村に対してセンターの設立を要請する。

##### ① 未設置町村の訪問指導

##### ② 設置促進会議の開催

#### 八 安全就業対策推進事業

安全就業が全てに優先することから、組織をあげて事故防止対策に取り組む

##### ① 安全就業推進委員会の開催（年二回）

県下全体の基本計画を策定する。

##### ② 安全就業研修会の開催

各センターの職員、安全就業推進員等の研修を通じて組織的に取り組む。

##### ③ 安全・適正就業パトロール指導員の配置

拠点センターのパトロール及び相談等に対応。

##### ④ 安全標語の募集及び表彰

##### ⑤ リーフレットの作成、配布

#### 九 シニアワークプログラム事業

国の委託事業として、六十歳前半層の高齢者の雇用就業ニーズに対応するため技能講習事業を実施する。

##### 第一種技能講習 十一回

##### 第一種介護講習 六回

## 平成十四年度事業実施状況

### 第一回通常理事会開催

平成十四年度第一回目の通常理事会を去る五月二十四日（金）「ホープスターとっとり」に於いて開催しました。

全理事及び監事二名の出席のもと、会長を議長として議事の審議に入りました。

議案は、新規会員の承認、シルバーフェア検討委員会の設置、平成十三年度事業報告・収支決算報告、平成十四年度収支補正予算書（案）、その他について審議されいづれも原案どおり承認されました。

### 第一回通常総会開催



平成十四年六月十三日（木）「ホープスターとっとり」において、平成十四年度第一回通常総会を開催しました。



当日は、青山平八鳥取労働局長、中西紀夫鳥取県商工労働部 労働雇用課 雇用政策室長のご臨席を賜り、各シルバー人材センターから理事長、事務局長十八名の出席のもと、川口会長の挨拶、来賓の祝辞の後、議長に（社）南部広域シルバー人材センターの中川理事長を選出し議事の審議に入りました。

審議された議案は、次のとおりで、いづれも原案どおり承認されました。

第一号議案 新規会員加入承認報告について

第二号議案 シルバーフェア検討委員会の設置について

第三号議案 平成十三年度事業報告及び収支決算報告について

第四号議案 平成十四年度収支補正予算書（案）について

その他

### 平成十四年度新規採用職員・相談員等業務研修会開催

各拠点シルバー人材センター及び連合会職員の新規採用職員・相談員等を対象とした業務研修会を五月八日に開催しました。

研修会には、十六名の職員、相談員等が参加し助言者に（社）米子広域シルバー人材センター事務局長にお願いし、活発な意見交換を行い有意義な研修会となりました。

### 国庫補助対象外シルバー人材センター業務研修会

シルバー人材センター事業を更にご理解いただくため、また、事業運営上の問題点及び課題等を解決するため、国庫補助対象外シルバー人材センター業務研修会を去る五月十六日倉吉市内において、県下十センターの参加のもと研修会を開催いたしました。

研修会では、助言者として(社)米子広域シルバー人材センター事務局長宇野治巳氏より「二十一世紀初頭におけるシルバー人材センターのあり方」及び「シルバー人材センター事業の現状と課題」等助言をいただき、その後、意見交換を行い非常に参考となった研修会でした。



### 第一回事務局長会議開催

本年度第一回事務局長会議を六月十一日米子市において、開催いたしました。

会議では平成十三年度事業実施状況及び平成十四年度事業計画、そして全国事務局長会議の概要の説明、その後、意見交換等を行いました。

### 第一回就業機会開発推進委員会開催

平成十四年度第一回就業機会開発推進委員会を六月二十五日倉吉市において、各拠点センターの推進委員等十四名出席のもとに開催されました。

会議では、平成十三年度就業機会開発推進事業実施状況及び平成十四年度事業実施計画及び広域就業分野の開発・拡大を図るため、意見交換を行いました。

### 第一回安全就業推進委員会開催

シルバー事業は、安全就業が最も大切であり、去る七月十九日倉吉市において、各拠点センターの推進委員等十四名出席のもとに開催されました。

会議では、平成十四年度事業実施計画のうち、特に今年度からの新しく配置された安全・適正就業パトロール指導員のパトロール実施計画について説明し、また、「刈払機の安全作業」のビデオを放映いたしました。

## 平成十四年度 安全表彰受賞

(社)南部広域シルバー人材センター安全就業推進への取組みについて、(社)南部広域シルバー人材センターは、当初より安全就業推進員を配置、安全委員会を設置するなど組織的な安全対策を積極的に取組み、役員・安全委員及び安全就業推進員が丸となって取組んだ結果、平成十四年度、(社)全国シルバー人材センター事業協会から安全就業優良シルバー人材センターとして、去る六月二十七日全シ協通常総会の席上で表彰受賞されました。



## 健康シリーズ⑥

高齢者社会を健やかに生きよう



労働福祉事業団  
山陰労災病院  
院長  
川崎 寛中

### はじめに

まず最初に、高齢者は何歳からかという定義は、生物学的（または医学的）にははっきりしたものはなく、むしろ社会制度によって規定されている場合が多いようです。

日本では昭和三十八年に老人福祉法が制定され、それ以後、法律的には六十五歳以上の人を高齢者として定めています。国際的には千九百五十六（昭和三十一）年に国連が人口の高齢化率を求めるときに、六十五歳以上を高齢者と定義しており、これに準じて世界各国は六十五歳以上を高齢者として定めています。

### 高齢者人口

平成十三年版厚生労働白書によります

と、わが国は世界一の長寿国で、二千（平成十二）年の日本人の平均寿命は、男性七十七・六四歳、女性八十四・六二歳であります。二千二年一月に発表された国立社会保障・人口問題研究所の推定では、日本人の平均寿命は二千五十（平成六十二）年には、男性八十・九五歳、女性八十九・二三歳に達します。一方では、二千年に約二千二百万であった六十五歳以上の高齢者人口は、二千二十五（平成三十七）年には約三千五百万人、二千五十年には約三千六百万人に増加します。その結果、総人口に占める六十五歳以上の人口の割合は、二千年十七・四％、二千二十五年二十八・七％、二千五十年三十五・七％と上昇して、二・八人に一人が六十五歳以上の高齢者となつて超高齢化社会に移行します。

このような将来推定人口を参考にして、社会制度の定義に準じて六十五歳以上を高齢者としますと、わが国の人口に占める高齢者の比率は漸次上昇して、将来高齢者層が三分の一以上になつて高齢者の医学的種々のデータを集積する時にその評価が曖昧になります。したがって、現在医学的には六十五歳から七十四歳まで前期高齢者（YOUNG-OLD）、七十五歳から八十四歳までを後期高齢者（OLD-OLD）、八十五歳以上を超高齢者（OLDEST-OLD）、百歳以上を百寿者（CENTENARIAN、SUCCESS）

FULL AGING）と表現する場合もあります。

読者の皆さんはこれから記述しますことを参考にして百寿者に到達してください。

### 高齢者の意識

「老人とは何歳以上と考えますか」という問いに対して、六十五歳以上と答える人は三割以下であるという国民の意識調査の結果が報告されています。私の知り合いの偉い老先生が入院され、若いナースから「おじいちゃん、夕食をお持ちしましたよ」と声をかけられますと、その老先生は「自分はおじいちゃんではない、名前で呼んでくれ」と烈火の如く怒られ、翌日看護師長さんと呼ばれて、この病院は接遇の教育がよくないから、何だったら自分が教えに来ましょう、と話されたそうです。

このようなことから推測しますと、現在六十五歳以上の高齢者は健康な人ほど「自分は高齢者ではなく、年寄りではない」という意識が強いものと考えます。この気持ちは大変大事なことだと思います。高齢者は両親から生を受けた命を大切にしながら、その人の能力を最大限に発揮して自らの可能性にチャレンジして、生涯にわたって夢と情熱をもって現役意識を持ち続けること



が大切です。

■ 健やかにいきるには

日本人の平均寿命は世界一であっても、長生きすることが満足する人生とは言い難いところに問題があります。言い慣らされた言葉ですが、人生が長くそして素晴らしいこと、満足感の得られる生活ができる長寿になるように努力しなければなりません。これから健康でボケない生活を送るいくつかのポイントを挙げましょう。

① お互い思いやりの気持ちに基づいて行動しましょう。特にご主人(夫)は奥様(妻)を大事にしましょう。例えば三十年以上連れ添って生きてきた夫婦で、突然のように妻に先に死なれますと、夫の平均余命はたったの三年です。一方、三十年間連れ添って生きてきた夫婦で、突然のように夫に死なれた妻の平均余命は二十五年以上です。

したがって、ご主人が元気で長生きできる必須の条件は、ぜひ奥様に長生きしてもらうことです。奥様に対して思いやりの気持ちで接しましょう。

② 健康は自分で作るもの守るものと心がけましょう。高齢者は栄養(食事)、運動、休養の三つを健康づくりの中心に捉え

てください。一方ではいつでも信頼できる主治医を持って、自分の健康のこと、病気のことを気軽に相談してみてください。主治医が自分の専門外の病気のことや、自分で判断できないことは、セカンド・オピニオンの他医を紹介されます。率先して他医を紹介されるドクターは良医と言えます。

③ 高齢になつてからのライフスタイルをあまり変えないようにすることも大事です。できれば体力の続く限り働いたほうがよく、例えば直接収入に結びつかなくても体を動かして社会に対して奉仕をしようと努力することを忘れないでください。

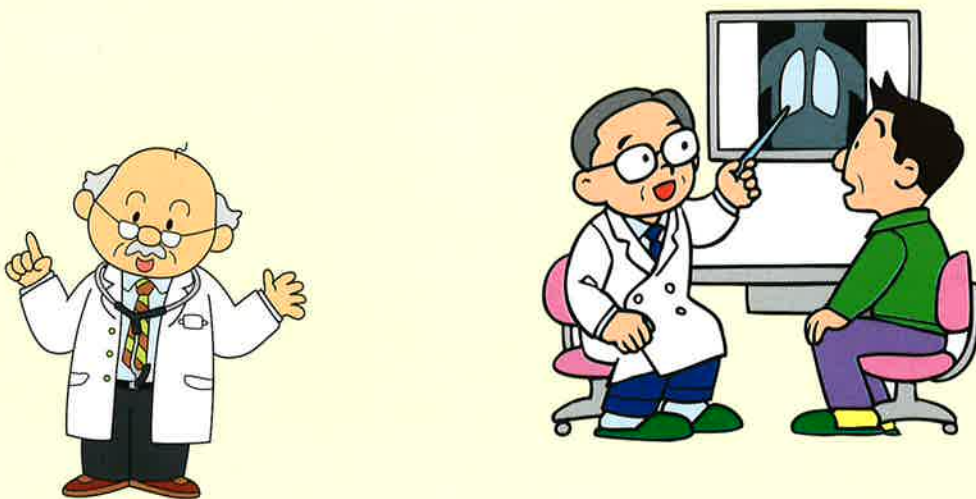
やはり、内にこもる人ほどうつ状態になり、ボケ症状が早くでます。

④ いくつになつても勉強の意欲を失わないこと、毎日、新聞を読むことでもよいし、週刊誌、月刊誌、趣味の本でもよく、物事に興味を持ち続けることが肝腎です。

⑤ 頭を使うと同時に体の若さを保ちましょう。

自分の好きな運動をうつつすらと汗をかく程度に続けて足腰を強くしましょう。運動は続けることが大事で習慣化してください。運動は骨を丈夫にして、血圧を下げ、生活習慣病(肥満、高血圧、糖尿病、高脂血症など)を防ぎ、筋肉を鍛えます。高齢になつて筋肉が減弱して筋肉減弱症(サルコペニア)になり

ますと、生体内の代謝面がうまくいきませ  
んからボケの要因になります。



## 平成14年度シニアワークプログラム事業 (第1種)実施計画

講習名	開催場所	定員	実施予定日	講習日数	
技能講習	パソコン(中級)	倉吉会場	20	6.17~ 6.21	5
	オフィスクリーニング	米子会場	20	9.09~ 9.13	5
	左官・ブロック	鳥取会場	20	9.30~10.08	6
	パソコン(初級)	境港会場	20	10.15~10.19	6
	オフィスクリーニング	鳥取会場	20	10.21~10.25	5
	接客サービス	鳥取会場	20	11.11~11.15	5
	〃	米子会場	20	11.18~11.22	5
	観光ガイド	倉吉会場	20	11.25~11.29	5
	パソコン(初級)	鳥取会場	20	12.02~12.06	5
	〃	米子会場	20	1.20~ 1.24	5
接客サービス	倉吉会場	20	1.27~ 1.31	5	
介護講習	ホームヘルパー 3級課程	鳥取会場	20	6.11~ 6.28	10
		米子会場	20	7.15~ 8.01	10
		倉吉会場	20	9.24~10.11	10
	ホームヘルパー 2級課程	鳥取会場	20	8.21~ 9.27	19
		境港会場	20	10.01~11.07	20
		米子会場	20	11.01~12.09	20

シニアワークプログラム事業は、一部すでに実施中ですが、十四年度は技能講習十一回、介護講習六回の実施を計画しています。

※講師、会場等の都合により日程が変更になることもあります。

## 平成十四年度シニアワークプログラム 事業(第一種)実施計画

### 新規加入団体の紹介

#### 正会員

##### 名和町シルバー人材センター

理事長 湊 勝利  
 入会日 平成14年4月1日  
 発 足 平成13年7月21日  
 会員数 63名(平成14年5月末現在)  
 事務所 西伯郡名和町御来屋四六七  
 電 話 0859-54-6077  
 F A X 0859-54-6077

#### 賛助会員

##### 名和町

町 長 山口隆之  
 入会日 平成14年4月17日  
 住 所 西伯郡名和町大字御来屋328  
 電 話 0859-54-5207



日本海に沈む夕陽と島根半島  
御来屋の夕景

## シルバー人材センターの紹介

### 白野町シルバー人材センター

先の鳥取県西部地震の際には県民多数の方々より励ましのお言葉やらご援助を頂戴いたしありがとうございます。現在も復興にそれぞれが努力をしているところです。

日野町は、JR伯耆線の根雨・黒坂・上菅各駅を含み、北は江府町・溝口町と西伯郡西伯町、西は、日南町、南は岡山県新見市・同県阿哲郡大佐町、東は同県真庭郡新庄村に接し、町域の約九〇パーセントは森林原野で、東から南にかけては中国山地の脊梁が走り、町の中央を日野川が北東流しています。

中山間地に漏れず、少子高齢化が進んでいます。



### 一、センターの状況

日野町シルバー人材センターは、平成十一年二月一日に発足しました。事務局は町社協内に置き、社協も事業の推進に協力しております。又、専任の事務局長を町補助で設置しました。当初は既存の業者の方々を圧迫するのではないかと考える方が多かったようですが、最近では一般家庭・民間事業者からの受注を主体とし、件数も増えつつあります。

受注内容としては、宛名書き・商品陳列・草刈り・屋内清掃・障子張り・大工仕事・庭木の剪定・家事援助・物品配布等多岐にわたっていますが、他のセンターと比較して行政から受注件数が極端に少ない状況にあります。

### 二、今後の課題

会員の高齢化により、作業内容によっては人出不足の部分も生じてきており、これの解決に苦慮することもあります。「会員の高齢化対策」・「作業場の確保」等対応策を今後検討していきませんが、会員の親睦等に力点を置きながら生き生きとした老後が送れるような活動を目指したいと考えています。

### 東伯町シルバー人材センター

東伯町は、鳥取県のほぼ中央に位置し、国立公園大山の山麓を臨み、その裾野に台地が広がり、北の日本海を底辺として細長い三角状をなしています。

白鳳時代に栄えた、特別指定の「斉尾廃寺跡」又山陰唯一の二段滝「大山滝」新日本名木百選で日本一の樹齢千年余りの大木「伯耆の大シイ」などがあり観光と史跡と自然に恵まれた町です。人口は、二二、四二二人。

**地域住民から信頼される  
事業を目指して**

**一、センターの概要**

東伯町シルバー人材センターは、平成九年九月一日、会員六六名で、小規模センターとして設立され、社会福祉協議会内に事務局が置かれました。現在は旧中央公民館内に独立した事務局兼作業場として活動しています。主な仕事は、剪定、襖、障子張り替え、除草、草刈等で公共の仕事が五十パーセント位あります。



初年度実績、契約金額は半年で三百万円でしたが、町民、企業、公共機関等から暖かい理解と高い評価をいただき、平成十三年度は、千八百万円と年々伸びています。

独自事業として「しめ飾り作り」、高年齢化が進み町より「軽度生活援助事業」を受託し活動しています。

**二、今後の課題**

一、会員、役・職員の一体となった連絡網作り  
二、今日まで蓄積された業績を大切にし「自主・自立・共働・共助」の基本理念をお互いに確認し、事業運営の充実化に努め、信頼と実績に立って地域に信頼され期待に応えられる、シルバー人材センターとして、活力あふれる住みよい町づくりに貢献したい。



**郡家町シルバー人材センター**

**町民から信頼され、喜ばれる事業を目指して**

郡家町は鳥取県東部の中心鳥取市から南へ十キロメートル、因幡の国のほぼ中心に位置する。郡家町は「花御所柿の里」として知られています。郡家町は、大正から昭和にかけて国鉄(現JR)因美線、国道二十九号線が開通して以来公共機関が集まり、八頭郡の中心として発展してきました。近年は宅地開発が相次いで行われ、鳥取市のベッドタウン化が進んでいます。郡家町は豊かな自然環境と行き届いた生活環境のなかで学び、遊び、働き、そして安心して暮らせる町として発展を続けています。

**センターの状況**

郡家町シルバー人材センターは平成五年九月に設立され、以後徐々に会員数も増え、現在では、一七六名となっています。就業内容としては、公民館、体育館などの管理、清掃、草刈、剪定、大工仕事、襖障子張替、筆耕などがあります。平成十三年度は、年間受注件数五七二件、年間就業延人数四、一〇三人、年間契約金額一六、六〇九、六六三円となっています。

先年十二年度に比べれば大幅な伸びがあります。今後は高齢化、少子化の社会に根ざした介護、育児に目を向けた就業開拓に志し、年々、着実に実績を伸ばして行きたいと思えます。

会員の組織活動として、老人福祉センター内に事務局を置き、センター運営を行っています。理事は、男性八名、女性二名の計十名で構成していて、会議は年三回開催しています。広報活動としては、町報に受注案内、会員募集を載せたり、町内無線放送を、流したりして、広く住民の周知徹底し、かかわりをもてるようにしています。技能講習としては、障子の張替なども行っていて、参加者の皆様に好評を得ています。



## 会員の広場

### 地域社会で

### 「いぶし銀」の存在たれ



(社)南部広域シルバー人材センター  
人材センター

中西 一雄

各地で、高齢者の生きがい対策と言う名のもと、様々な取組が行なわれています。学習にスポーツに興味等々高齢者が以前と比べて家に引き籠ることは非常に少なくなっ

て来ました。

そんな中で、「いぶし銀」のように目立たないが重みのある存在が、私達の属するシルバー人材センターであると私は思っています。

我が(社)南部広域シルバー人材センターは、西伯・会見・岸本の三町で構成され会員数四百四十六名企業で言うなれば中堅に位置し平成十三年度契約金額一億七千五百九万九千二百九十二円、受注件数三千五百六十四件延就業人員三万三千四百六十一名と三町に於いて一年三百六十五日毎日約九十二名の方が就労している。幾多の障害を私達の先輩が克服し今日のような立派な組織を作りあげたことに深く感謝すると共に、新旧会員の就労等についても近年は考えもしなかった問題も起きています。

就業中における事故について、シルバー保険でカバーするも十分な保障は望めません。

一人一人がその事を十分理解し安全就業に努めるよう一層の努力を切望します。

気持は若者のようでも体の反復動作は加齢と共に鈍って来ます。何事にもチャレンジすることは大切ですが、日頃の健康管理と就業時の安全管理が何よりも最優先に考えるべき重要事項だと思います。平成十四年度安全就業優良シルバー人材センターとして、全国表彰の栄に輝いたことは町民の理解と会員、役職員の日頃の取組が評価され大輪の花となつて

開いた嬉しいニュースでした。

## シルバー私の生きがい



(社)境港市シルバー  
人材センター

築谷郁雄

平成三年十月境港市シルバー人材センター発足と同時に入会したことをつい先日の様に覚えています。当時私を含め十人余りのグループで職業訓練所で、三日間の襖張り講習を受け、その後シルバーの作業場で、襖紙の断裁や糊づくり、襖張りを行うようになりしました。研修を受けたといってもほとんど素人の私たちでしたから襖紙の断裁や糊づくりも満足な仕上がりにならず、襖張りでは、基礎のない私たちが、張っても角の方にしわがでける始末でした。張っても張ってもしわが寄り思うように行かず、泣くような思いの毎日でした。私たち高齢者が本当に地域に貢献できるだろうか不安な日々の中で、私を支えて下さったのは、同僚の暖かい気持ちだったと思います。明るく楽しい雰囲気の中で仕事ができたと、十時と三時の休憩は、私の不安を消してくれるのに、それほどの時を必要としませんでした。本当にシルバーで仕事をしなくてよかったですと思えるようになりました。

私はシルバー発足時より発注者宅へ襖障子の搬入と仕上がった襖障子の納入の仕事を主に行って居ます。発注者の方から綺麗に早く出来ました。値段は安いしもっと早くシルバーへ発注すればよかったです、と喜んでいただいた時に満足感と会員として働ける事に感謝をしています。早いもので昨年はシルバー設立十周年を迎え功労者として表彰を受けました。光陰矢のごとしと申しますが、文字通り矢のように過ぎました。おかげ様で交友関係が、大変広くなり毎日元気で働くことは素晴らしいことで、今後共微力ながら、健康に留意し一日でも長く社会に貢献出来るよう頑張りたいと思っております。

## 明日への希望は今日の努力



(社)倉吉市シルバー  
人材センター

福柁稔夫

私の若い頃に印象として残っている言葉に、「人生僅か五十年」と言う言葉があった。社会環境の厳しさがこの言葉に表れている。

現代社会は八十歳前後と長生きができ、高齢社会と言われるまでになった。今昔を比較して考えた場合、皆が一つになって努力しあつて此処まで進歩してきたのだから、人間の

力は素晴らしいと思います。

さて、人間は自分の一生には多くの、夢と目標があります。社会の一員としての責務と子育ては、生きて行く為のステップです。

次の目標は、現役を退く後には、第二の人生と言う老後がある。この老後を如何に有意義に過ごすかと言うことにぶち当たり、人それぞれが考えて行かなければならない、人生の生き方がここで変わってきます。

第二の人生を、楽しく面白く、夢を持って過ごせたら幸せそのものである。幸いにして思いを現実してくれるのが、生き甲斐の源となっているシルバー人材センターがあります。

友達作りをして、仲良くし、お互いに助け合い、働く事で健康管理が出来る。このような素晴らしい組織の中で、会員である我々はこれ以上の生き甲斐はないと思います。

私も会員としてお世話になって六年の間、皆さんからは対人関係の大切さ、又、人を思う心の重要性等は肌で教わりました。

お陰様で、いい意味での人生観が変わり、少しでもお役にたてればと積極的に受け入れて行動して、色々な人生経験が出来ることを喜んでいきます。

今後共シルバー人材センターが一層充実して、地域社会に親しまれ喜ばれるものになればならない、これはセンター全体の相互理解が必要不可欠です。共に頑張りましょう。

## 美しく老いるために

(社)赤碕町シルバー  
人材センター

### 遠藤 頼美

平成十一年四月にシルバー人材センターが設立されました。

早速登録し、技術班の障子・ふすま張りに入れていただきました。メンバーは六名です。最初はとまどいもありましたが講習を受け、その後いろいろと研究や工夫をして、現在では、納得のいく仕事が出来るようになりました。また、利用して下さる方にも大変喜んでいただいています。

会員も年を重ねていきますがこの仕事は金銭が目的ではなく、今後ますます高齢者社会が進むにつれ、先に見えない福祉に思いをはせながら、お互いに健康には十分注意をしながら語り合い励ましあつて楽しく生きていくことができたらと思っています。この仕事は技術面も大切な事は勿論ですが、友情・信頼関係や健康が大切ではないかと思われまます。

私達の町にも元気な高齢者がまだ沢山みうけられますので、一人でも多くの方が加入して下さることを願っています。自分でできる仕事が必要一つはあるはずですが、また、いかにして自分が健康で楽しく生きられるか笑

いの中で見つけてください。  
折角私達高齢者のために創設された、この制度を健康の広場として息の長い活動をしていきたいと思えます。手をつなぎ合つて楽しく生きていき、少しでも社会に恩返しができるように活動を継続することが、美しく老いることになると思います。

## 講習会に参加して

### ☆護三級の講習に参加して



倉吉市北野

### 岩本 悠紀子

私は、三月一杯で失業しました。再就職先を捜しますが、年齢的になく何か身につけてからと思っていましたところ、運よく介護三級が受講できることになり道が開けました。

始め机に置かれた分厚いテキストを前に、四十年来の教科書を開いての学習に戸惑いを覚えました。しかし、各分野の先生方の御自分の経験を交えてのお話しに引き込まれて、時間の経つのを忘れる程でした。

実技となり紙オムツの感触を身に付けて味わい、食物を口を開いたまま飲み込む大変さを知り、体位移動で楽に出来る方法を教わりました。訪問介護は必ず本人様に声を掛けて様子を見るのが第一だと教わり同行しました。

言われた家事をこなすだけが精一杯で、またたく間に時間となり段取りの大切さが解りました。午後は緑の松林を抜けて大谷海岸へ遠出でした。車中隣の方が「あれがしち山だよ。」と教えて下さり話しをするきっかけとなりました。

到着すると海の匂いや潮風を胸一杯吸い込み、皆んな気持ちいいの歌声も出ていました。私は車椅子の方のスロープの降り方を習いました。実践はいろいろの事が学習でき、とても為になります。

往復三時間の通学でしたが、汽車の中で復習が出来て幸いでした。今後は二級に前進したいと思えます。二週間無事に終了出来ましたのは、親身になってお世話して下さいましたシルバー人材センターの岡田氏に心よりお礼申し上げます。

ありがとうございます。



## 同級生のよらかな気分で

### 学んだ介護講習

鳥取市行徳

松田 公江

昨年この頃、私は殆ど寝たきり状態でした。駐車場の段差でつまづいてしまい、投げ出されるようにセメントの上へ転倒してしまいました。動くこともできなくなり不安な思いの中、一カ月以上寝ているだけでした。

それからは、薄皮を剥ぐように良くなりましたが、その分、筋力は衰え対人関係も億劫になり、働く意欲もなくなり、家事とテレビの毎日。これでは五年後はもつと何も出来ないなるだろうと思いがぐんでいた処、事務の仕事に誘われ、これを機に出て見ることにしました。

最初は何も出来ず、ブランクの大きさに戸惑いながら、今では少しだけパソコンにもさわれるようになってきました。JRに乗り笑顔での挨拶をモットーにして出勤しています。少し前向きになってきた私に、介護士をしている嫁がこの度、介護講習の受講を薦めてくれました。同じような年代の人がそれぞれ異なった立場から、何かの目標を見いだそうと一緒に学ぶ喜びを味わいました。先生の

講義には説得力があり、人間はどんな状態になっても、お互いに尊重しあつて生きることが基本だということに改めて気づきました。昨年のあの頃を思うと、小さな一歩でも、私にとっては、まるでカルチャーショックを受けた様な思いです。「できそう?」「難しいねえ。」などと言いながら、同級生のような気分で楽しい時間を過ごすことが出来ました。

これからは無理はしないようにして、少しだけ頑張ってみようと思っています。

### 介護講習三級課程を受講して

(社)鳥取シルバー

人材センター

竹内 節子

シルバー人材センターより三級を受講してみないかと電話をいただき、私に出来るだろうかと心配でしたが、思い切って受講することにして返事をしました。

男子二人、女子十四人で受けました。はじめはすごく疲れました。

三級では家事援助が主でした。二日目からは先生方の講習を受けて、利用者の家族の方の役やヘルパーさんの役に扮して、話をした

り実技もありました。

北デイサービスに行き、講師の先生方に講習を受け、利用者の残存能力の活用をするように言われました。

いなば幸朋苑での加藤先生の講習も楽しく受けられました。

ありがとうございました。

## 新規担当職員の紹介

昇任 四月一日付け

次長(総務・業務担当)

中曾幸男

新任 四月一日付け

シニアワークプログラム事業

業務担当(技能講習)

八田 和

シルバー事業

就業開拓推進員

山脇英世

安全適正就業パトロール指導員

川内野節允

退職 三月三十一日付け

シニアワークプログラム事業

業務担当(技能講習)

木村壽男

シルバー事業

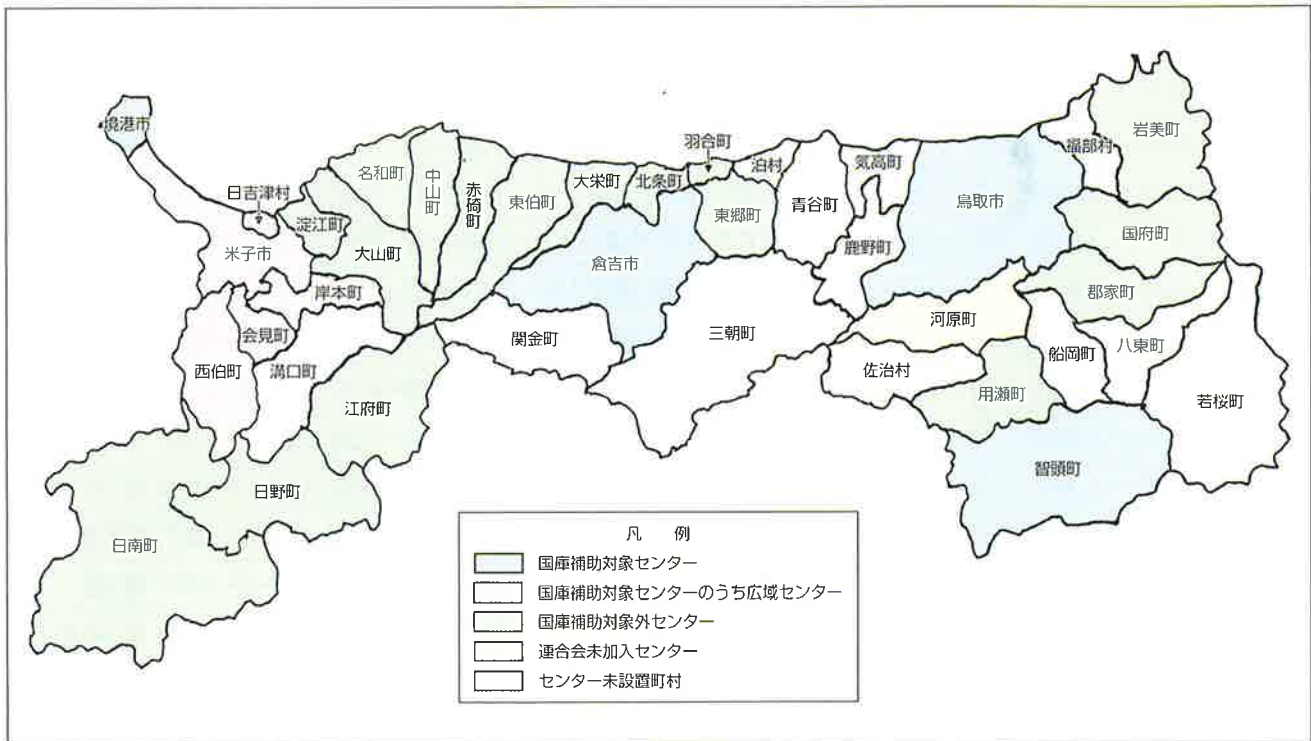
就業開拓推進員

湊 勝利



# 鳥取県内のシルバー人材センター設立状況

県内のシルバー人材センター設立状況は、下記掲載地図のとおり39市町村のうち、連合会加入の国庫補助対象センターは4市4町1村で6センター、国庫補助対象外センターは17町で17センター、連合会未加入センターは1町で1センターの合計24センターであります。未設置は9町3村となっております。ここまでに至るまでには、20年の歳月を経ております。ただし、平成9年からの5年間では毎年2～3センターが設立され合計13センターを数えておりますので、この調子でいけば、高齢化の速度に比例して設立機運は早まるものと思われます。



**シルバー人材センターでは高齢者の知識・経験・技能を活かした様々な仕事を行っております。**

### 事務分野

筆耕 宛名書き 賞状書き 書類・伝票整理 調査事務など

### 専門分野

編集・校正 教育指導など

### 技術を必要とする分野

簡単な大工 左官等営繕 修理 家庭内外の塗装 庭木の剪定 消毒ふすま・障子の張替え ワープ口文書等作成など

### サービス分野

家庭介助 家庭内の掃除 買い物 食事の支度 子守り 老人話相手など

### 折衝・外交分野

ピラ配り デパート販売 補助 店番など

### 管理分野

駐車場などの施設管理 物品の管理など

### 屋内外の一般作業

施設・家庭の除草掃除 荷物の移動荷造りなど

その他の高齢者向きの仕事

# (社)鳥取県シルバー人材センター連合会正会員

名称	〒	所在地	電話	FAX	代表者
(社)鳥取市シルバー人材センター	680-0823	鳥取市幸町73	0857-22-0050	0857-22-0051	歳岡輝巳
(社)米子広域シルバー人材センター	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633	0859-32-5823	川口貞良
(社)倉吉市シルバー人材センター	682-0864	倉吉市鍛冶町1-2971-2	0858-22-0870	0858-23-6101	福井春光
(社)境港市シルバー人材センター	684-0043	境港市竹内町40	0859-45-6661	0859-45-6583	足立郁馬
(社)南部広域シルバー人材センター	683-0351	西伯郡西伯町法勝寺170	0859-66-4011	0859-66-5330	中川正昭
(社)智頭町シルバー人材センター	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170	0858-75-2366	石谷文一
用瀬町シルバー人材センター	689-1211	八頭郡用瀬町別府31-1	0858-87-2302	0858-87-2369	和島利明
淀江町シルバー人材センター	689-3402	西伯郡淀江町淀江676-2	0859-56-6200	0859-56-6205	高野邦親
北条町シルバー人材センター	689-2103	東伯郡北条町田井46-2	0858-36-4527	0858-36-5056	山本義憲
中山町シルバー人材センター	689-3111	西伯郡中山町赤坂766-1	0858-49-3012	0858-49-3013	中井雅由
郡家町シルバー人材センター	680-0463	八頭郡郡家町宮谷254-1	0858-72-0021	0858-72-2793	有田 益
国府町シルバー人材センター	680-0142	岩美郡国府町麻生4-2	0857-22-1880	0857-22-1889	山吹栄市
江府町シルバー人材センター	689-4403	日野郡江府町久連7-1	0859-75-2942	0859-75-3900	仲嶋勝利
岩美町シルバー人材センター	681-0003	岩美郡岩美町浦富1041-1	0857-72-2511	0857-72-2511	太田弘道
東伯町シルバー人材センター	689-2352	東伯郡東伯町浦安152-3	0858-52-1001	0858-53-2035	米田義人
大栄町シルバー人材センター	689-2205	東伯郡大栄町瀬戸36-2	0858-37-4522	0858-37-4532	竹歳邦安
羽合町シルバー人材センター	682-0712	東伯郡羽合町上浅津123-2	0858-35-4130	0858-35-4130	磯江末夫
赤碕町シルバー人材センター	689-2501	東伯郡赤碕町赤碕1113-2	0858-55-1124	0858-55-1137	小泉忠好
日野町シルバー人材センター	689-5131	日野郡日野町黒坂1247-1	0859-74-0338	0859-74-0338	谷本忠光
日南町シルバー人材センター	689-5211	日野郡日南町生山511-5	0859-82-0374	0859-82-1027	青戸建一郎
大山町高齢者能力活用人材センター	689-3332	西伯郡大山町末長269-1	0859-53-4787	0859-53-4787	森田 潔
東郷町シルバー人材センター	689-0713	東伯郡東郷町旭83	0858-32-0828	0858-32-0834	中村和美
名和町シルバー人材センター	689-3211	西伯郡名和町御来屋467	0859-54-6077	0859-54-6077	湊 勝利

お願い

・投稿募集

俳句、短歌、川柳、会員の声

俳句、短歌、川柳は二句(首)まで

投稿ご希望の方は左記までご連絡をお願いいたします。

米子市錦町二丁目二二

(社)鳥取県シルバー人材センター連合会

郵便番号 六八三〇八一

電話番号 (〇八五九) 三七二二五二一

FAX番号 (〇八五九) 三七二二五二七

あとがき

今回も、関係各位の御協力のお陰で第七号が発行できました。ご寄稿いただいた皆様から御礼申し上げます。これからも紙面の充実に努めてまいりますので、一層の御協力をご愛読いただきますようお願い申し上げます。

会報 鳥取 第7号

平成14年8月1日 発行

発行：社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

所在地：〒683-0811 鳥取県米子市錦町1丁目22番地

電話：0859-37-2531

FAX：0859-37-2537

印刷：東京印刷株式会社 鳥取県米子市西三柳929

電話：0859-29-2311